

ESC/P 制御コードと ESC/P モード

IBM 5557-H02 には、ESC/P をエミュレートする機能があります。この機能は、エミュレーションの選択で ESC/P モードを選択すると使用できます。

IBM 5557-H02 は、ESC/P (VP5074) をエミュレートしています。

IBM 5579/5577/5573 の ESC/P エミュレーションとの出力結果に多少の違いが発生する可能性がありますので、注意してください。

ESC/P 制御コードの詳細については、「ESC/P のリファレンス・マニュアル」を参照してください。

ESC/P モードの初期設定

IBM 5557-H02 シリアル・プリンターを ESC/P モードで使用する場合は接続されているシステム・ユニット上で稼働するオペレーティング・システムのプリンター・ドライバーは、ESC/P プリンター・ドライバーを導入してください。

プリンターの初期設定で、エミュレーションの選択時に ESC/P モードを選択してください。初期設定の設定 / 変更方法は、「初期設定メニュー」の「エミュレーション・メニュー」(CD 版)をお読みください。

制御コード

IBM 5557-H02 シリアル・プリンターがサポートする制御コードを示します。

文字 / スタイル選択

ESC	R	国際文字選択
ESC	t	文字コード表選択
ESC	X	文字品位選択
ESC	%	ダウンロード文字セット指定 / 解除
ESC	q	文字スタイル選択

水平方向移動

BS		後退
HT		水平タブ実行
ESC	D	水平タブ位置設定
ESC	\$	絶対位置指定
CR		印字復帰
ESC		左マージン設定
ESC	Q	右マージン設定
ESC	¥	相対位置指定

改行

ESC	0	1/8 インチ改行量指定
ESC	2	1/6 インチ改行量指定
ESC	3	n/180 インチ改行量指定
ESC	+	n/360 インチ改行量指定
ESC	A	n/60 インチ改行量指定

用紙書式

ESC	C 0	インチ単位ページ量設定
ESC	C	行単位ページ量設定
ESC	N	ミシン目スキップ設定
ESC	O	ミシン目スキップ解除

プリンター制御

BEL		ブザー
DC 1		デバイス・コントロール 1
DC 3		デバイス・コントロール 3
CAN		データ抹消
ESC	U	単方向印字指定 / 解除
ESC	@	初期化
ESC	EM	カット・シート・フィーダー制御

テキスト印字

ESC	w	縦倍拡大指定 / 解除
ESC	—	アンダーライン指定 / 解除
ESC	E	強調指定
ESC	F	強調解除
ESC	G	二重印字指定
ESC	H	二重印字解除
ESC	S	スーパー / サブスクリプト指定
ESC	T	スーパー / サブスクリプト解除
DEL		1文字削除
ESC	M	12CPI 指定
ESC	g	15CPI 指定
ESC	P	10CPI 指定
ESC	W	倍幅拡大指定 / 解除
SI		縮小指定
SO		自動解除付き倍幅拡大指定
ESC	SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC	SI	縮小指定
ESC	SP	文字間スペース量設定
ESC	!	一括指定
DC2		縮小解除
DC4		自動解除付き倍幅拡大解除
ESC	4	イタリック指定
ESC	5	イタリック解除
ESC	p	プロポーショナル指定 / 解除

垂直方向移動

LF		改行
VT		垂直タブ実行
FF		改ページ
ESC	J	n/180 インチ順方向紙送り
ESC	B	垂直タブ位置指定
ESC	b	VFU タブ位置設定
ESC	/	VFU チャンネル指定

その他

ESC	&	ダウンロード文字定義
ESC	:	文字セット・コピー
ESC	<	リターンホーム

グラフィック・コマンド

ESC	K	8 ドット単密度ビット・イメージ
ESC	L	8 ドット倍密度ビット・イメージ
ESC	Y	8 ドット倍速・倍密度ビット・イメージ
ESC	Z	8 ドット4 倍密度ビット・イメージ
ESC	*	ビット・イメージ選択
ESC	?	ビット・イメージ・モード変換

漢字コマンド

FS	SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS	SI	半角文字指定
FS	DC2	半角文字削除
FS	DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
FS	!	漢字一括指定
FS	&	漢字モード指定
FS	—	漢字アンダーライン指定 / 解除
FS	.	漢字モード解除
FS	2	外字定義
FS	D	半角縦書き2 文字指定
FS	J	漢字縦書き指定
FS	K	漢字横書き指定
FS	S	全角文字スペース量指定
FS	T	半角文字スペース量指定
FS	U	半角文字スペース量補正
FS	V	半角文字スペース量補正解除
FS	W	4 倍角指定 / 解除
FS	r	1/4 角文字指定
FS	x	漢字高速印字指定 / 解除

拡張コマンド

ESC EM	用紙切換え
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
ESC [s	バーコード登録
ESC [d	バーコード・データ登録
ESC [p	バーコード印刷要求
ESC) Z	拡張文字拡大指定
ESC) S	スムージング指定/解除
ESC) C	コピー強化モード
ESC [t	QR CODE印刷/PDF417印刷

拡張コマンド詳細

1. 用紙切換えコマンド：ESC EM n (X' 1B 19 n')

- 次の用紙モードを選択します。
 - n = X'00' 又は X'30' → 単票モード
 - n = X'01' 又は X'31' → 単票モード
 - n = "R" → 単票排出
(拡張パラメータ)
 - n = "F" → 連続紙モード
 - n = 30 : 手差し
 - n = 43 : 手差し
 - n = 31 : ASF
 - n = 32 : ASF
 - n = 33 : ASF
 - n = 52 : 単票排出
 - n = 46 : フロント・トラクタ選択
 - n = 47 : リア・トラクタ選択
 - n = 49 : 切取り



重要

1 回のコマンドによる用紙戻し量は 19 インチです。それ以上用紙が出力されているときは、用紙を切り取ってから用紙切換えコマンドを送ってください。

2. n/180 インチ逆改行：ESC j n (X' 1B 6A n')

- n/180 インチ逆改行します。n の設定範囲は、 $0 \leq n \leq X'FF'$ です。
- 次行の印字位置は現在の印字位置となります。
- 単票の場合、TOF 位置を超える逆改行要求は、コマンドは無効になります。
- 本コマンドによって、自動改行付き拡大モードは解除されません。

3. バーコード登録：ESC [s n₁ n₂ (X' 1B 5B 73 n₁ n₂ k m s₁ s₂ s₃ s₄ v₁ v₂ c')

- 本コマンドはバーコード規格等を登録します。
- 本コマンドだけでは、印刷バッファには登録されません。
- n₁, n₂ は、以降のパラメータの数を設定します。
パラメータの数は、 $(n_2 \times 256 + n_1)$ によって得られます。また、n₁ = 0, n₂ = 0 の場合は、登録データすべて初期化されます。
- k は、バーコード規格を表します。規格と k との対応は次のとおりです。下記以外の k の値に関しては、k = 0 と同様に扱います。

<k>	規 格
X'00'	変更なし
X'01'	CODE39
X'08'	JAN短縮
X'09'	JAN標準 (デフォルト)
X'0A'	INDUSTRIAL 2 OF 5
X'0C'	INTERLEAVED 2 OF 5
X'0D'	NW-7
X'1B'	カスタマ・バーコード (郵政省)

- m は基本モジュールの幅を表します。m と幅の対応は次のとおりです。

<m>	モジュール幅	カスタマ・バーコードの場合
X'00'	変更なし	10ポイント (デフォルト)
X'01'	1ドット幅 (デフォルト)	8ポイント
X'02'	2ドット幅	9ポイント
X'03'	3ドット幅	10ポイント
X'04'	4ドット幅	11.5ポイント
X'05'	5ドット幅	サポートされない
X'06'	6ドット幅	サポートされない
X'07'	7ドット幅	サポートされない
X'08'	8ドット幅	サポートされない

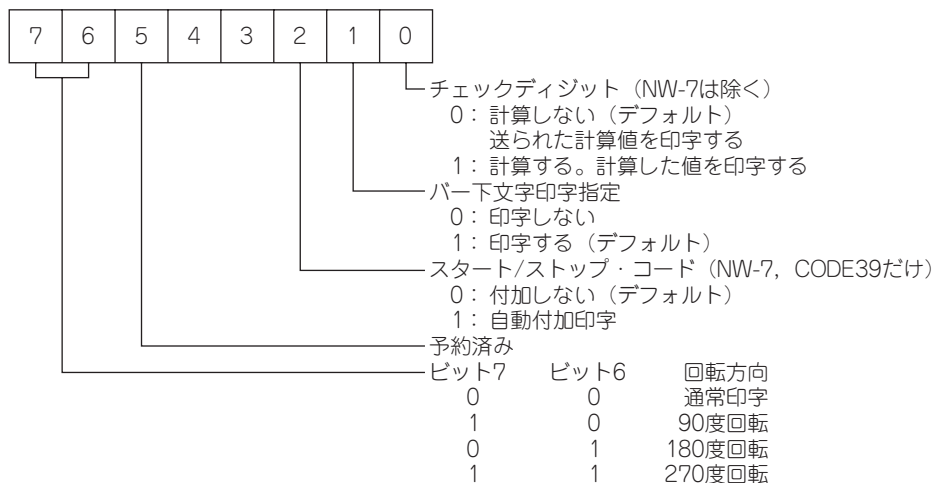


重 要

JAN が選択されている場合、m = 5 以上の設定は m = 0 と同様に扱われます。
JAN とカスタマ・バーコード以外は最高 8 ドット幅まで選択できます。

- <s₁> は、バーコードのナロー・スペースの補正ドットを表します。基準となる単位は 1/180 インチで、補正範囲は + 2/180 インチから - 2/180 インチとなります。
- <s₂> は、バーコードのナロー・バーの補正ドットを表します。基準となる単位は 1/180 インチで、補正範囲は + 2/180 インチから - 2/180 インチとなります。
- <s₃> は、バーコードのワイド・スペースの補正ドットを表します。基準となる単位は 1/180 インチで、補正範囲は + 7/180 インチから - 4/180 インチとなります。
- <s₄> は、バーコードのワイド・バーの補正ドットを表します。基準となる単位は 1/180 インチで、補正範囲は + 7/180 インチから - 4/180 インチとなります。
- <v₁>、<v₂> は、バーの高さを指定します。高さは、(v₂ × 256 + v₁)/180 インチで表します。
ただし、バー下文字がなく高さが、24/180 インチ以下に指定された場合には自動的に 24/180 インチの高さに設定されます。

- <c> はコントロール・フラグで各ビットは、次のとおりです。



4. バーコード・データ登録 : ESC [d n₁ n₂ (X' 1B 5B 64 n₁ n₂ d₁ d₂... d_n)

- 本コマンドはバーコード・データを登録するコマンドです。
- バーコード登録コマンドで指定されているバーコード規格のデータ部を登録するコマンドです。
 n₁, n₂ は、以降のパラメータの数を指定します。パラメータ数は (n₂×256 + n₁) によって得られます。
- d₁...d_n は、バーコード・データを表します。
- NW-7 及び CODE39 のスタート / ストップ・コードに関して次の制約があります。
 次に示すコード以外が指定された場合は、バーコードは登録されません。

< NW-7 >

スタート/ストップ ・コード	HEX
" a"	X' 61'
" b"	X' 62'
" c"	X' 63'
" d"	X' 64'

< CODE39 >

スタート/ストップ ・コード	HEX
" *"	X' 2A'

NW-7 の場合、印刷装置自動付加の場合は、“a” に固定。

Code128 の場合のスタート・コードの指定

- スタート (CODE A) → > 7 (X' 3E', X' 37')
- スタート (CODE B) → > 6 (X' 3E', X' 36')
- スタート (CODE C) → > 5 (X' 3E', X' 35')

5. バーコード印刷要求 : ESC [p (X' 1B 5B 70')

- 本コマンドは、バーコードを印字バッファに展開することを要求します。
- このコマンドによって現在の印字位置からバーコードを展開します。
- 印字は、垂直方向移動コマンドによって行われます。
- 展開されるバーコードがページ境界にかかる場合は、バーコードは正しく印字されません。
- バー下文字は、回転方向が通常印字の場合だけ印字します。

6. 拡張文字拡大指定 : ESC) Z x y (X' 1B 29 5A x y')

- 拡張文字拡大の設定を行います。
- xによって文字の横拡大倍率を、yによって文字の縦拡大倍率を指定します。

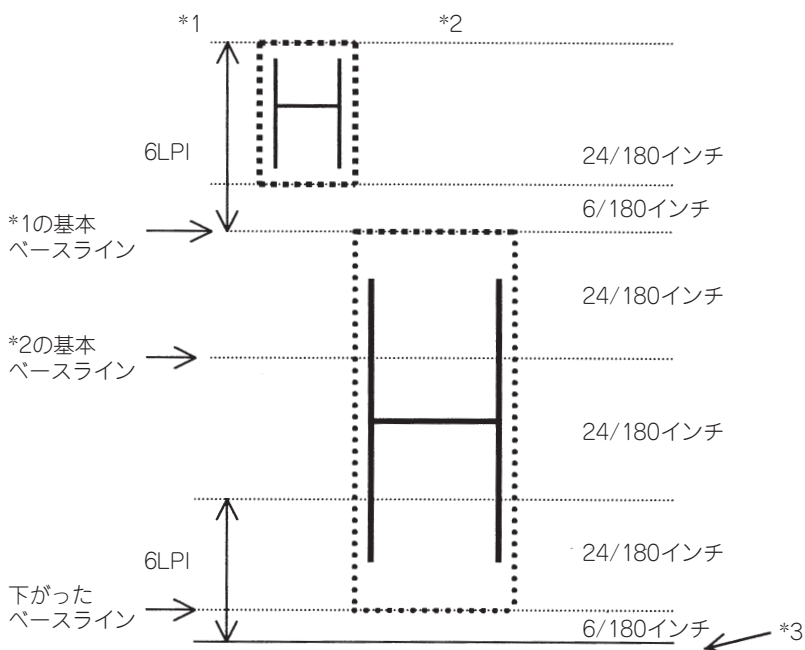
<x>,<y> = 0 拡張拡大指定解除 (デフォルト)
 = 1 1倍
 = 2 2倍
 = 3 3倍
 = 4 4倍
 = 5 5倍
 = 6 6倍
 = 7 7倍
 = 8 8倍
 = 16 16倍

上記以外の設定値は無視します (前回の設定値を使用)。

- 外字に対しても有効です。
- ESC/P 標準の文字サイズ指定のコントロール・コードとの併用はできません。拡張文字拡大指定が優先されますので、ESC/P 標準のコントロール・コードで文字拡大を行う場合は、x = 0, y = 0 にセットしてください。
- 文字幅が右マージンを超えた場合には、その文字は次の行に印字します。ただし、最初の1文字目は右マージンを超えた場合でも、その行に印字します。
- 縦拡大によって、ページ先頭位置を超える場合でもそのまま印刷します。
- 縦拡大によって、ミシン目スキップ領域に入った場合には、改ページを行い、続きを印刷します。
- 拡大拡張機能が有効な状態では、英数カナ文字のドラフト文字 (120DPI) は自動的に高品位ドラフト (180DPI) として処理されます。
- 拡大拡張機能が有効な状態では、影・袋文字等の文字修飾機能は無効です。
- 拡大拡張機能が有効な状態では、抹消線は無効です。
- 拡大拡張機能が有効な状態では、オーバースコアは最上段に印刷します。
- アンダーライン・オーバースコアの線幅の拡大はできません。
- 英数カナ文字だけの行において、縦2倍角以上の指定がある場合にはベースラインは全体的に下がります (標準コマンドの漢字の縦倍角と同じ制御です)。

(例)

全角”H”・LF (6LPI)・縦3倍+横2倍”H”・LFの場合 (6LPI)



*3 --- 次の行の先頭位置は以下の計算式で求められます。
改行量 [1/180 インチ] + (y - 1) * 24/180 インチ

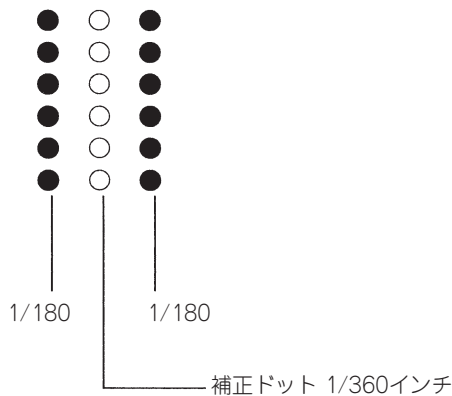
7. スムージング指定 / 解除 : ESC) S n (X' 1B 29 53 n')

- 文字を拡大させた場合にギザギザを目立たないようにするスムージングの指定 / 解除を選択します。
n = X' 00' →スムージング解除
n = X' 01' →スムージング指定
- 縦 / 横共に2倍以上の拡大で有効となります。
横3倍 + 半角のような指定がなされた場合、スムージング処理は行われません。
- 英数カナ文字のドラフト文字に対してはスムージング処理は行われません。
- 初期設定値を変えることによって、ESC/P 標準のコントロール・コード (FS W 等) でもスムージング処理を行えます。

	ESC/P標準コントロール・コードによる拡大 : FS W 等		拡張コントロール・コードによる拡大 : ESC) Z	
初期値設定(スムージング)	有効	無効	有効	無効
ESC) S n=1	有効	無効	有効	無効

8. コピー強化モード：ESC) C n (X' 1B 29 43 n')

- コピー強化モードの設定 / 解除を選択します。
n = X' 00' → コピー強化モード解除
n = X' 01' → コピー強化モード指定
n = X' 02' → コピー強化モード指定
- コピー強化は、ドットをずらして 360 Full で印字されます。



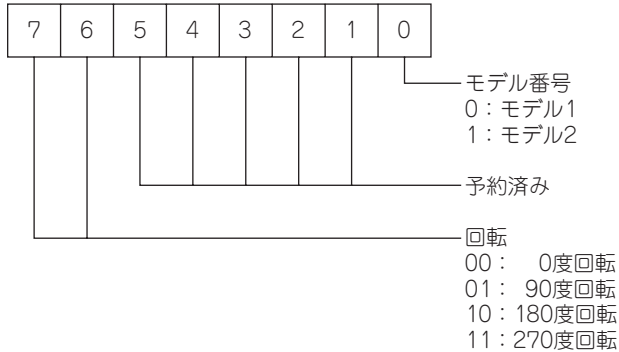
- コピー強化モードの設定は、行の先頭で行います。
- コマンド、キー操作との優先順位は、次のとおりです。
優先順位 1：高速キー
2：コピー強化モード
3：コマンドによるスピード又はフォント切換え

9. QR CODE 印刷：ESC [t n₁ n₂ (X' 1B 5B 74 k c e p d, data')

- 本コマンドは、QR CODE を印刷するコマンドです。
- n₁, n₂ は、以降のパラメータの数を設定します。
パラメータの数は、(n₂ × 256 + n₁) により得られます。
- k = X' 05' を設定します。
- m は基本モジュールの大きさを設定します。
単位は 1/360 インチで、指定範囲は X' 00' ≤ m ≤ X' B4' (最大 0.5 インチ) です。
m = X' 00' が設定されたときは 6/360 インチとなります。プリンタの解像度によって 2/360 インチ単位で設定してください。
- PDF417 印刷 = ESC [t n₁ n₂ k m c e₁ e₂ e₃ f s t u r₁ r₂ r₃ d₁...d_n]
(n₂ × 256 + n₁) = 後続パラメータ数
m = 00 ~ B4 : モジュール幅
c : 回転 (00 = 0°, 40 = 90°, 80 = 180°, C0 = 270°)
e₁ = エラー訂正方法 (00 = エラーパーセント, 01 = エラーレベル)
(e₃ × 256 + e₂) = エラーパーセンテージ (0000 ~ 0190), エラー訂正レベル (0000 ~ 0008)
f = バーコード形状 (01 : 高さ指定, 02 : 幅指定, 03 : 高さ + 幅指定)
s = バーコードサイズ (f = 01 のとき 03 ~ 5A, f = 02 のとき 01 ~ 1E, f = 03 のとき 01 ~ 63)

t = モジュールの形状 (02 ~ 09)
 u = バーコード作成方法 (00 固定)
 r₁ r₂ r₃ = 予備 (00 固定)
 d₁ ~ d_n : バーコードデータ

- c はコントロール・フラグで、各ビットは次のとおりです。



- e は誤り訂正コードです。次の中から選択してください。
 誤り訂正レベルが大きい程、読取り率が高くなります。

設定値	誤り訂正レベル
H (48H)	30%
Q (51H)	25%
M (4DH)	15%
L (4CH)	7%
上記以外	15%

- p はマスク番号を設定します。通常は省略してください。

設定値	マスク番号
0~7	各マスクパターンを任意選定
8	マスクなし
上記以外又は省略時	自動選定

- d は入力モードを設定します。通常は 'A' を設定してください。

設定値	入力モード
A (41H)	自動設定
M (4DH)	マニュアル設定
上記以外	自動設定

- ', ' (カンマ) は区切り記号です。
- data は、QR CODE のデータを表します。
 漢字コードは、シフト JIS で指定してください。

ESC/P モードを使用する場合の制限

次の制御コードは使用できません。

位置揃え選択 ESC a
 書体選択 ESC k
 漢字書体選択 FS k

ESC/P 文字セット

・漢字コード表については、「ESC/P リファンレス・マニュアル」を参照してください。

●カタカナ・コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
0	NUL			0	@	P	`	p	_	+		-	ク	ミ	=	×	
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	_	〒	。	ア	チ	ム	ト	月	
2		DC2	"	2	B	R	b	r	_	〒	「	イ	ツ	メ	キ	キ	
3		DC3	#	3	C	S	c	s	_	〒	」	ウ	テ	モ	コ	月	
4		DC4	\$	4	D	T	d	t	_	〒	,	エ	ト	ヤ	▲	日	
5			%	5	E	U	e	u	_	〒	.	オ	ナ	ユ	▲	時	
6			&	6	F	V	f	v	_	〒		ワ	カ	ニ	ヨ	▼	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	_	〒		ア	キ	ヌ	ラ	▼	秒
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x		〒	「	イ	ク	ネ	リ	◆	千
9	HT	EM)	9	I	Y	i	y		〒	」	ウ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z		〒	「	エ	コ	ハ	レ	◆	区
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{		〒	」	オ	サ	ヒ	ロ	◆	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	!		〒	」	ヤ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M]	m	}		〒	」	ユ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~		〒	」	ヨ	セ	ホ	.	/	屋
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	+	〒	」	ッ	ソ	マ	.	\	

//n// コマンド

//n// コマンドは拡張制御コードで、テキスト文字列の形で文書中に挿入できます。
また、未定義の拡張コマンドが送られたときには、//n// の n が数字の場合は、コマンドをすべて受けた後、無視されます (n: 最大 2 バイト)。
n が数字以外の未定義コマンドについては、テキストデータとして印刷されます。



メモ

JBCC5166 プリンター用ユニーク・コマンド (//n//) IBM5557-H02 は //n// コマンドをサポートしていますので、//n// コマンドを使用しているアプリケーションはそのままご使用が可能です。




重要

この機能を使用するには、「プリンター駆動ルーチン」を「レベル E」指定にしてください。

なお、使用するソフトウェアによって、この機能が使用できない場合があります。

1. ASF 選択 : //1// (X' 2F 2F 31 2F 2F') , //2// (X' 2F 2F 32 2F 2F')
この制御コードを受けると ASF を選択します。ASF がセットされていない場合には、「単票」になります。
なお、初期設定の用紙選択の設定を行うと無視されます。
2. 単票吸入 : //I// (X' 2F 2F 49 2F 2F')
5577 モード選択時においては、制御コード ESC S , あるいは ESX 0E 00 01 05 と同じ機能です。
ASF 又は、フロントテサシより用紙を吸入します (連続紙指定時は無視されます (5577 モード))。
なお、用紙がセットされた状態で、印字開始位置にある場合には、この制御コードは無視され、印字開始位置にない場合には、その用紙を排出してから新しい用紙を吸入します。
単票指定時にこの制御コマンドを受けると、ASF 吸入動作を行います。このとき、単票が正常に吸入されていない場合 (ASF に用紙未セット状態) は、フロントの手差し待ち状態となります。その後、ブザーが鳴り (<印刷可 ●> で <要点検 ☆>) 待ちの状態になります。
この場合は、フロント手差しに用紙をセットすると、吸入動作を開始します。
3. 単票排出 : //R// (X' 2F 2F 52 2F 2F')
5577 モード選択時においては、制御コード ESC V , あるいは ESX 0E 00 01 06 と同じ機能です。
ASF , 又は単票ガイドの用紙を排出します。
連続用紙の場合は、次ページの印字開始位置まで用紙を送ります。
用紙が印字開始位置にあるときは無視されます。

-
4. フロント・トラクター設定：//3// (X' 2F 2F 33 2F 2F')
連続用紙をフロント・トラクターから自動的に吸入します。
初期設定の用紙選択の設定を行うと無視されます。
 5. リア・トラクター設定：//4// (X' 2F 2F 34 2F 2F')
連続用紙をリア・トラクターから自動的に吸入します。
初期設定の用紙選択の設定を行うと無視されます。
 6. トップカット設定：//5// (X' 2F 2F 35 2F 2F')
セットされている用紙をトップカット位置（ミシン目切り位置）まで送ります。
用紙を切り取り後、スイッチ  (インサツカ/フカ) を押すと、次ページの印字開始位置まで用紙を送ります。
単票指定の場合は、「単票排出」になります。
 7. 通常速モード設定：//10// (X' 2F 2F 31 30 2F 2F')
高速モード、コピー強化モードを解除して通常速モードに設定します。
プリンターのスイッチ操作、又は初期設定によって通常速モード、コピー強化モードに設定されている場合には、この制御コードは無視されます。
 8. 高速モード設定：//11// (X' 2F 2F 31 31 2F 2F')
通常速モード、コピー強化モードを解除して高速モードに設定します。
プリンターのスイッチ操作、又は初期設定によってコピー強化モード、縮小モード及び印刷モードに設定されている場合には、この制御コードは無視されます。
 9. コピー強化モード設定：//13// (X' 2F 2F 31 33 2F 2F')
高速モード、通常速モードを解除してコピー強化モードに設定します。
プリンターのスイッチ操作、又は初期設定によって通常速モードに設定されている場合には、この制御コードは無視されます。
 10. ユーザ切り替え設定：//Un// (X' 2F 2F 55 n 2F 2F')
 - ・ ユーザ 1～9：n = 1 (X' 31'), 2 (X' 32')...9 (X' 39')
 - ・ ユーザ 10～20：n = A (X' 41'), B (X' 42')...K (X' 4B')5577 モード選択時においては、改ページ後、プリンターを初期状態に戻してユーザの切換えを行います（ただし、文字ピッチと行ピッチの設定値はそのままです）。
 11. エミュレーション切り替え設定：//Sn// (X' 2F 2F 53 n 2F 2F')
n = 1 (X' 31')：ESC/P， n = 2 (X' 32')：5577
 12. 明朝 12 フォント設定：//FA// (X' 2F 2F 46 41 2F 2F')
[5577 モード選択時有効]
英数字（半角）を、初期値の明朝 12 フォントへ戻します。
ただし、プリンターの初期設定で OCR-B フォントに指定されている場合には、初期設定値が優先されます。
-

13. OCR-B フォント設定 (数字) : //FB// (X' 2F 2F 46 42 2F 2F')

[5577 モード選択時有効]

数字 (半角)0 ~ 9 を, OCR-B フォントに変換します。

ただし, プリンターの初期設定で OCR-B フォントに指定されている場合には, 初期設定値が優先されます。

14. OCR-B フォント設定 (全文字) : //FC// (X' 2F 2F 46 43 2F 2F')

[5577 モード選択時有効]

英数字 (半角) を, OCR-B フォントに変換します。

ただし, プリンターの初期設定で OCR-B フォントに指定されている場合には, 初期設定値が優先されます。

15. ページ長さ設定 : //FL// 03 n₁ n₂ n₃ (X' 2F 2F 46 4C 2F 2F 30 33 n₁ n₂ n₃')

[5577 モード選択時有効]

0, 3 = 固定 (これ以後のパラメータの長さ)

n₁, n₂, n₃ = 001 ~ 511 (1 ページの長さを 1/6 インチ単位で設定)

この設定で印字ヘッドが位置するところが, 第 1 行目の印字開始位置になります。

電源スイッチをオンにしたときには, プリンターの初期値に対応する値が設定されます。



重 要

通常, ページ長さ設定コマンドは, アプリケーション側から送られるもので, このコマンドを任意に設定した場合, アプリケーション管理のページ長さからずれることがあります。

16. 文字スケール設定 : //FS//n (X' 2F 2F 46 53 2F 2F n')

[5577 モード選択時有効]

このコマンド設定以降の文字の大きさを n の値に応じて変化させます (次の表を参照)。

n	文字の大きさ (横×縦)
0 (X' 30')	1×1
1 (X' 31')	1/2×1/2
2 (X' 32')	1×2
3 (X' 33')	2×1
4 (X' 34')	2×2

17. ASCII 機能の設定 : //01// 制御コード //02// (X' 2F 2F 30 31 2F 2F ...2F 2F 30 31 2F 2F')

[5577 モード選択時有効]

プリンターの制御コードを文字コードに変換して転送するための機能です。

プリンター制御コード (16 進表示) を, ASCII スタート (//01//) と ASCII エンド (//02//) の間に入れて転送することで, すべてのプリンター制御コードを文字コードとして送ることができます。

(例) //01//0C//02// 改行 (0C)_H

(X' 2F 2F 30 31 2F 2F 30 43 2F 2F 30 32 2F 2F')

//01//1B 25 55//02// ... 片方向印刷モード設定 ESC % U

(X' 2F 2F 30 31 2F 2F 31 42 32 35 35 35 2F 2F 30 32 2F 2F')